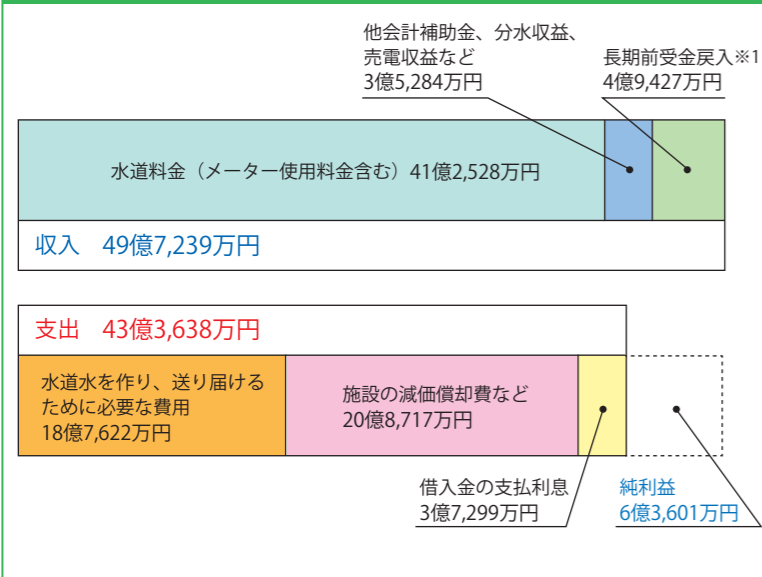




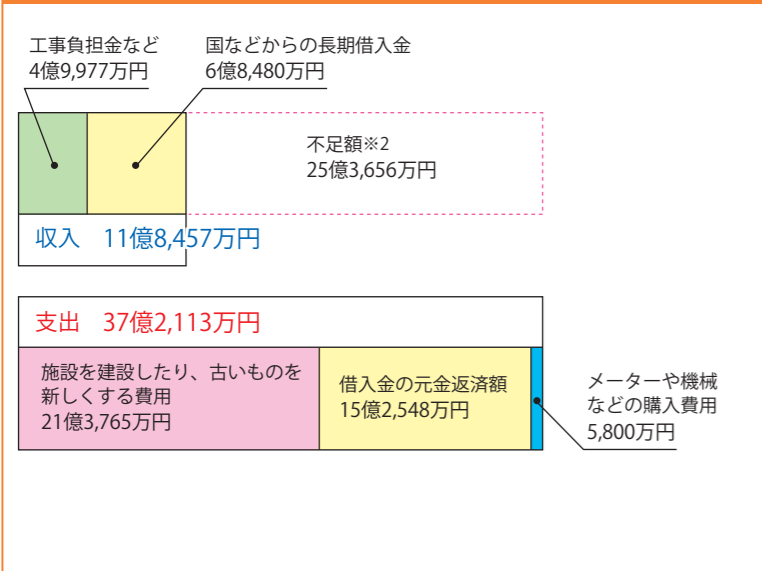
令和2年度 水道事業会計決算のあらまし

「徳島市水道ビジョン2019」に基づき、「安全・強靱・持続」を施策の3本柱とし、「未来につなぐ水都とくしまの水道」を目指して、事業運営に取り組みました。

収益的収支（税抜） 水道水を供給するための収入と支出



資本的収支（税込） 水道施設を整備するための収入と支出



令和2年度に実施した事業概要

安全 いつでも安心して使える水道水をお届けします

- 精度の高い水質検査を実施
- 鉛製給水管取替工事助成制度の利用促進
- 配水管布設替工事等による鉛製給水管の取替

強靱 どんときでも供給できる強靱な水道を目指します

- 水源の長寿命化対策（第7水源）
- 送水管更新（眉山系、西の丸系の一部）



- 管路の更新・耐震化を実施
- 応急給水施設を設置（一宮配水場）

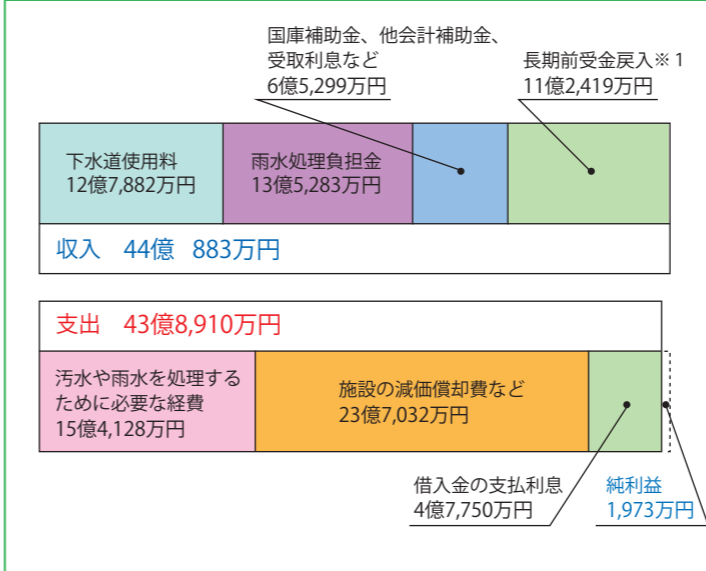
持続 将来にわたり運営可能な水道を目指します

- 業務の効率化を推進
 - ・ 水道料金等徴収業務の包括委託
 - ・ 配水管工事設計業務委託
- 太陽光発電
 - ・ 収益の確保
 - ・ 温室効果ガス排出量削減

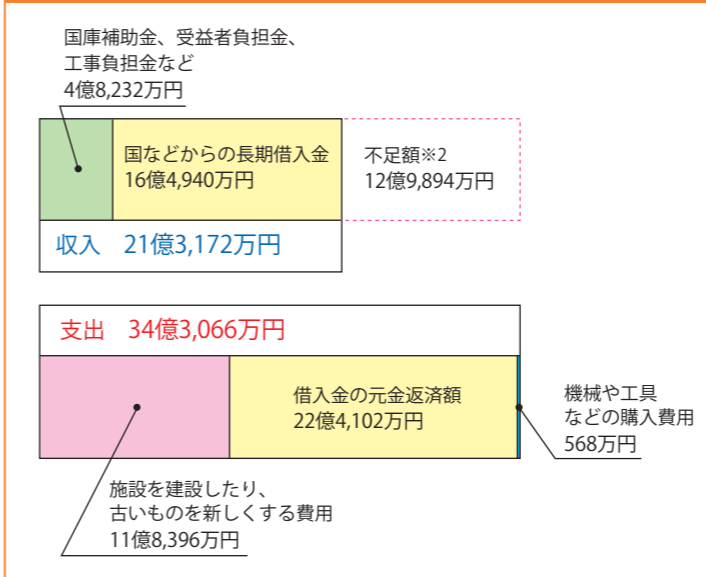
令和2年度 公共下水道事業会計決算のあらまし

令和2年4月から地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行しました。経営状況や財政状況を明確化するとともに、水道事業との組織統合を行うことで、窓口の一元化による市民サービスの向上や組織・経営の効率化等に努めました。

収益的収支（税抜） 汚水などを処理するための収入と支出



資本的収支（税込） 下水道施設を整備するための収入と支出



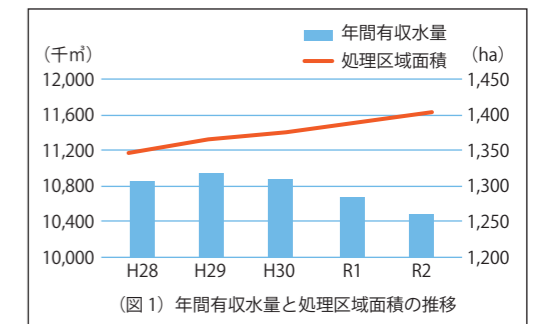
令和2年度に実施した事業概要

- 整備及び普及状況
 - ・ 処理区域面積※3：1,403ha
 - ・ 処理区域内人口：77,138人
 - ・ 年間有収水量※4：10,480,439 m³
- 施設の老朽化対策
 - ・ 汚泥移送ポンプの改築（中央浄化センター）
 - ・ 下水道渠改築（両国橋など）
- 雨水対策
 - ・ 監視制御設備改築工事（福島ポンプ場）
 - ・ 雨水自動除塵機改築工事（中央浄化センター）
- 地震・津波対策
 - ・ 耐震・耐津波診断の実施（福島ポンプ場）
 - ・ 下水道施設耐震・耐津波化計画の策定
- 令和3年3月に「徳島市公共下水道事業経営戦略」を策定

公共下水道の処理区域面積は年々増加しているものの、人口減少や節水機器の普及等の影響により、有収水量は減少傾向にあります。（図1）

一方、災害対策や老朽化対策に必要な費用は、増加傾向にあり、経営は厳しい状況となっています。

こうした状況を踏まえ、市民のみなさまに将来にわたって安定的に下水道サービスを提供することができるよう、中長期的な経営の基本方針として、公共下水道事業経営戦略を策定しました。（裏面参照）



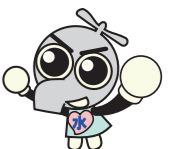
※1 長期前受金戻入とは、固定資産の取得の際に交付された補助金、工事負担金など（長期前受金）を資産の減価償却に合わせ各年度に収益として計上するものです。

※2 不足額は、減価償却費など、現金の支出を伴わない費用によって企業内部に留保された資金で賄っています。

※3 処理区域面積：公共下水道により汚水を排除できる面積

※4 年間有収水量：下水道使用料徴収の対象となった水量

経営戦略の詳細内容は、裏面を見てね！



徳島市公共下水道事業経営戦略

衛生的で快適な暮らしを確保し、河川等の水環境をきれいにするとともに、多発する集中豪雨等の災害から、まちをまもるため、持続可能な事業運営を確立し、「快適で安心・安全な公共下水道事業の提供」を目指します。

計画期間は、令和3年度～令和12年度の10年間です。

QRコードはこちら



目標1 適切な汚水処理の推進

施策1 汚水整備方針の検討

施策2 放流水の適切な水質管理

施策3 老朽化対策



豊かな水環境と衛生的な生活環境を保つために、引き続き下水道施設の整備をはじめとする公共下水道による適切な汚水処理を推進します。また、老朽化した下水道施設について、計画的な改築更新を行い、効率的な施設運用を行います。



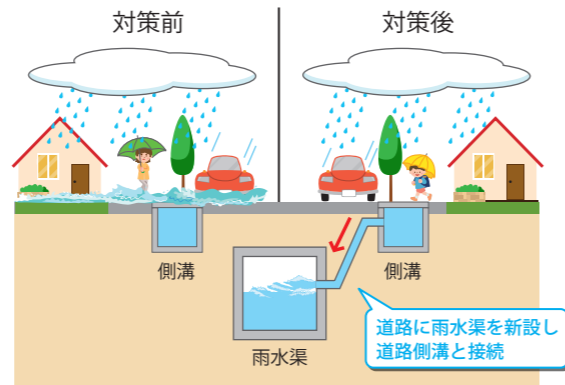
目標2 災害に対する安全性の確保

施策1 雨水対策

施策2 地震・津波対策

施策3 下水道BCP^{※5}の継続的運用

近年多発する集中豪雨に備えた浸水対策や、南海トラフ巨大地震に備えた地震・津波対策に取り組み、被災時の被害規模軽減と迅速な復旧に向けた体制構築に取り組みます。



雨水対策イメージ

下水道使用料収入の減少や、老朽化した施設の改築更新費用等の増加により、厳しい経営状況にあります。

財政基盤の強化を図るため、適切な施設規模を検討し、効率的な投資を行うことで、安定した公共下水道サービスを提供します。

目標3 健全で持続可能な事業運営

施策1 水洗化率^{※6}の向上

施策2 下水道使用料の適正化

施策3 維持管理経費の抑制

施策4 未利用地の活用

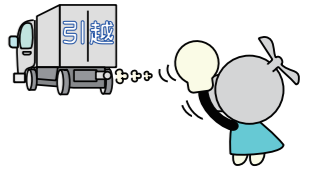
※5 BCP：業務継続計画（Business Continuity Plan）のこと。被災時に必要最低限の事業を継続しつつ、業務を早期に復旧・再開できるようにするための行動計画。

※6 水洗化率：処理区域内で実際に下水道に接続している人口の割合（水洗化人口 / 処理区域内人口 × 100）

連絡はお早めに

3月・4月は引っ越しのシーズンです。

水道の使用開始や中止の手続きが混み合うことが予想されますので、引っ越しが決まりましたらお早めに上下水道局までご連絡をお願いします。



引っ越しの連絡先 お客さまセンター ☎088-623-1187

「上下水道局ホームページ」又は、徳島市ホームページ「徳島市電子申請サービス」からもお申し込みいただけますので、ぜひご利用ください。

QRコードはこちら



○マンションなどにお住まいで、水道料金等を管理会社や所有者などにお支払いされている場合は、管理会社などにご連絡をお願いします。

水道の冬支度

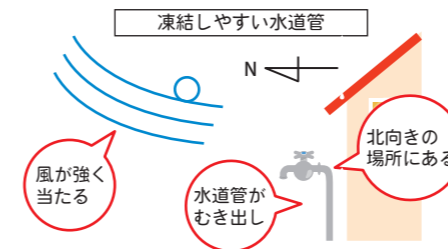
問い合わせ 水道維持課 ☎088-623-1188

今年も寒い季節がやってきました。冬季の水道事故でもっとも多いのが、凍結による屋外の水道管の破損です。

早めに水道の冬支度を済ませておきましょう。

凍結しやすい場所

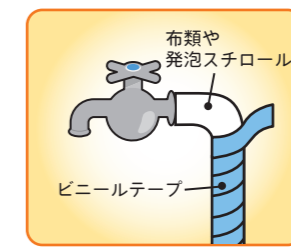
- 水道管がむき出しになっている場所
- 北向きで日が当たらない場所
- 風当たりの強い場所



防寒のしかた

水道器具に保温材や布などを巻いてください。じゃ口が破損することもあるので、水道管だけではなくじゃ口まで完全に包むようにしてください。

また、忘れがちなのが水道メーターの防寒です。メーターボックスの中に布などを入れて保温してください。



QRコードはこちら



鉛製給水管取替工事助成制度をご利用ください

問い合わせ 水道整備課 計画係 ☎088-623-3972
管理係 ☎088-623-1190

鉛製給水管の取り替えをされるお客さまに対し、対象工事費の一部を助成しています。

ぜひこの機会に「鉛製給水管取替工事助成制度」をご利用ください。

助成制度の詳細については、上下水道局のホームページをご覧ください。

○なお、昭和53年1月以降に新たに布設した給水管については、鉛製給水管は使用されていません。

QRコードはこちら

